

No. 14 職員退職及び町長への手紙に関する謝罪文、「アーバンスポーツ推進計画策定」

企業公募について

(令和6年5月受付)

内容	大量退職について、回覧板で10名退職したことを知る。課長職1名は定年退職であろう。行政職146名の内の約6%、健康福祉課2名、農林課2名、教育課3名退職。特に農林課と教育課は係長クラスが退職。個人の資質や問題とは異なる理由で退職せざるを得ない状態が継続したと予想される。各課長人事担当の人材管理能力に疑問を呈す。人材の損失に対し根本見直しをなさなければ、職場環境・仕事品質の低下、その先には町民の生活の安全と水準の低下が懸念される。 「町長への手紙」に関する謝罪文について、広報4月号に町長名で謝罪文が掲載。情報流出は重大な事故である。事故の概要、発生原因、事故後の対応、懲罰、再発防止策を公表する義務がある。 「大多喜アーバンスポーツ推進計画策定」企業公募について、町がアーバンスポーツを推進していることを初めて知る。当町は歴史と自然渓谷をPRしている町ではないか。そぐわない事業の策定に697.4万円使用とは血税をドブに捨てるようなものだ。反対と見受けられる「町長への手紙」が既に2通あった。 以上述べた3件に共通する要因は前町長から継続する大多喜町指導部の町民軽視であり、傲慢さである。具体的な行動を役場は示し、内から変えることを切に希望する。できないならば、己の進退を考えるべきであろう。
回答	職員退職及び町長への手紙に関する謝罪文、「アーバンスポーツ推進計画策定」企業公募についての「町長への手紙」の内容につきまして、次のとおりご回答申し上げます。貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。

まず、職員退職について、本町では、本年３月末に１０名の正職員が退職しましたが、いずれも本人の都合による退職でありました。

職員の早期退職に関しては、近年、社会的に働き方の多様化が進み、転職も一般的になりつつある状況下では、官民間問わず人材の確保が課題となっております。

本町においても、限られた財源の中で、住民サービスの維持・向上と職員の勤務環境の改善を両立させることに苦慮するところでありますが、善処してまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に、広報４月号での町長への手紙に関する取扱いについてのお詫びにつきましては、個人情報に関係もあり御本人や事案の特定がされない形でできる限りの内容を掲載させていただいておりますので、ご理解の程お願い申し上げます。

そして、本町がアーバンスポーツを推進していることにつきまして、ご説明申し上げます。

本町が歴史と自然、溪谷を大切にしていることに変わりはありません。これらは町の貴重な財産であり、引き続き大切にしていける所存です。しかしながら、時代の変化と共に、町の魅力を多角的に発信し、より多くの方々に本町を訪れていただくことも重要であると考えております。

アーバンスポーツの推進は、町の交流人口の増加や経済の活性化を目指すものであり、特に若者を中心とした新たな観光客の呼び込みに繋がると期待しております。また、スポーツを通じての健康増進や、町の自然と地形を生かしたサイクルスポーツの推進は、健康社会の実現と観光振興に寄与するものと信じております。

さらに、町をサイクルスポーツのメッカとして位置づけることによ

	り、国内外からのサイクリストを惹きつけ、地域経済にも好影響をもたらすことと信じております。 今後も、皆様のご意見を大切にしながら、町全体の利益となるよう努めて参ります。
--	--